

	<b>号外</b> 昭和34年4月1日 第3種郵便物認可	定価1部2円	比例代表「鬼木まこと」、岩手県選挙区「きどぐち英司」 必勝に向け最大限の支持拡大を！
		発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内 岩手県職員労働組合	

分会基礎調査集約中

7.13人員確保要求書を提出

# 体制改善へ 職場から声をあげよう！

**欠員解消** **業務実態を踏まえた人員配置**

**長時間労働解消** **メンタルヘルス対策**

県職労は7月13日（水）、知事あてに「人員確保に関する要求書」を提出し、人事課総括課長交渉を実施する。人員確保要求書は、5月から6月にかけて取り組んでいる「分会基礎調査」を踏まえた部局・所属別の人員要求数も盛り込み、職場実態を当局に突き付けながら、現場で必要としている人員配置・人員増を求め交渉する。慢性的な長時間労働や精神疾患の増加の原因は人員不足にあることは明らかだ。欠員の解消はもとより、職場実態を踏まえた人員配置を求め、職場から声をあげ、人員増を勝ち取ろう！

## 【分会基礎調査で不足人員を点検しよう】

2021年度の超過勤務実績は、全庁で月平均15.6時間と2020年度比0.7%増とほぼ横ばいとなっている（年平均では186.7時間）が、コロナ対策に従事する職場を中心に大幅増となっており、超勤実態は好転している状況にない。特に振興局の保健福祉環境部（保健福祉部所管）では、年平均329.4時間（前年度比106.8%増）と倍増しており、コロナ対策が長期化するなか、人員増を含めた職場体制の確保とともに、心身の健康保持などの対策が急務となっている。

2022年2月末時点での14日以上  
の精神疾患の療養者数は延べ103人、療養日数は143.2日（前年同月比33.9日増）と長期化し、世代別では29歳以下の若年層が増加傾向となっている。職場で全く余裕がなく、恒常的な人員不足が職場環境の悪化に拍車をかけている。

要求書反映のため、分会基礎調査表を6月30日までに提出してください。

内訳	2018	2019	2020	2020 （2月末）	2021 （2月末）
療養総人員	78	106	110	105	103
療養総日数	9,343	12,017	11,812	11,481	14,753
療養平均日数	119.7	113.4	107.4	109.3	143.2
療養実人員	72	100	98	94	96
29歳以下	21	30	25	23	32
30歳代	13	20	20	19	20
40歳代	23	28	38	37	28
50歳以上	15	22	15	15	16

# 6.22 政治決戦・参院選スタート!

## 働く者のための政治実現へ

## 推薦候補者の必勝へ支持の輪を広げよう

岩手県選挙区 野党統一候補

全国比例代表 自治労組織内

きどぐち英司

鬼木まこと



6月22日公示・7月10日投開票となる参院選がスタートした。私たちの賃金改善や職場の人員不足、再任用・会計年度任用職員の処遇改善などの社会構造的課題は、交渉だけでは限界がある。私たちの声を国政に届けるため、県職労推薦候補者の必勝に向け支持の輪を広げよう。

# 6.23「鬼木まこと」来県!!

【本人の訴える政策を聴きに行こう!】

- 8:00~ 8:40 街頭演説 (県庁前)
- 12:20~12:50 北上個人演説会 (幸楼北上店)
- 18:00~18:30 岩手個人演説会 (岩手教育会館)  
※庁外個人演説会 (宮古・陸中ビル)



※これは労働組合の「政治活動」であり、法律で禁止している「選挙運動」には該当しません。